

1人1台端末を意図的に活用した授業及び校内研究

余子小学校(理科)の実践より

ICT活用についての提案授業であっても、探究の過程が1時間の中に収められています。



ポイント① 1時間で「まとめ・振り返り」までを終え、探究の過程を板書で可視化している。

※授業終了時の板書(○内の数字はICT活用場面→「ポイント②」参照)

問題 ふりこの長さを変えると、ふりが1往復する時間は変わるだろうか。

予想 ① 変わる: ブランコ、メトローム
変わらない: 重くてもふれはばでも変わらない

実験 ②③④

変える条件	同じにする条件
ふりこの長さ	おもりの重さ 10g
	ふれはば 30°

結果 ⑤

ふりこの長さ (cm)	1往復する時間 (秒)
10	0.8 0.8 0.6
30	1.1 1.2 1.0
40	1.2
50	1.5 1.3 1.4 1.4
60	
70	
100	1.9 2
200	2.8

⑥ 結果から考えたこと
キーワード: ふりこの長さ、1往復する時間
+ もし、でも 例え、だから

⑦ まとめ
ふりの長さを変えると、1往復する時間は変わる。
ふりの長さを長くすると、1往復する時間は長くなる。

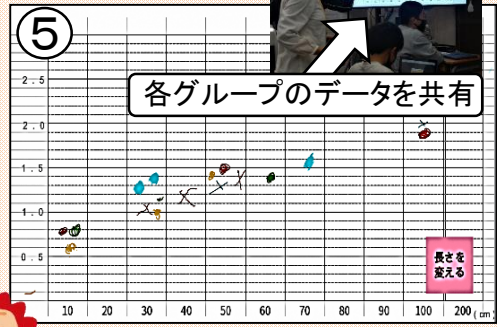
⑧

ポイント② 児童が授業の流れに沿って、1人1台端末を主体的に活用している。



【本時における児童のICT活用】

- ① 予想の共有 → Jamboard
- ② 実験の録画 → カメラ機能
- ③ 時間の計測 → タイマー機能
- ④ 平均値の算出 → 計算機機能
- ⑤ グラフ化・共有 → Jamboard
- ⑥ 考察の共有 → Jamboard
- ⑦ まとめの共有 → Jamboard
- ⑧ 振り返りの共有 → Forms



1人1台端末が常に児童の手元にあり、文房具を選択するように自由に活用していました。タイピングの技術も、1学期から上達を見せています。



ポイント③ ICT活用について、教師が協力しながら積極的に取り組んでいる。



授業研究会で1人1台端末(Jamboard)を活用



ICT活用に苦手意識のある先生方も、若手の先生方や子供たちから積極的に学ぼうとする姿が見られました。

また、授業研究会の協議の場面で1人1台端末(Jamboard)を用いることで、意図的にICT活用の機会が設けられていました。

